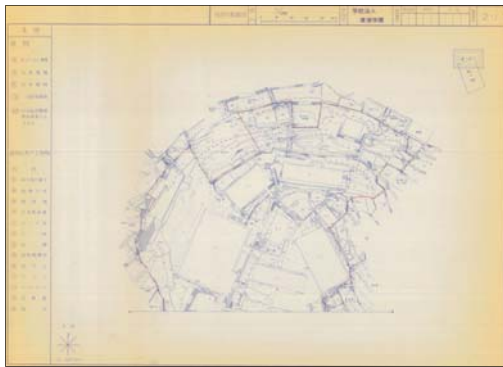


測量 —survey—

当社の測量部門では、従来の測量（基準点・水準・地形・応用）のみならず、測量の地理空間情報専門技術を活用し、公共施設（近年は共同溝の地下埋設物）の正確な位置情報の取得による適切な管理図作成業務、また、各法令に基づいた台帳（教育・一般等の公有財産）の整備支援のご提案に力を入れております。

□共同溝調査業務

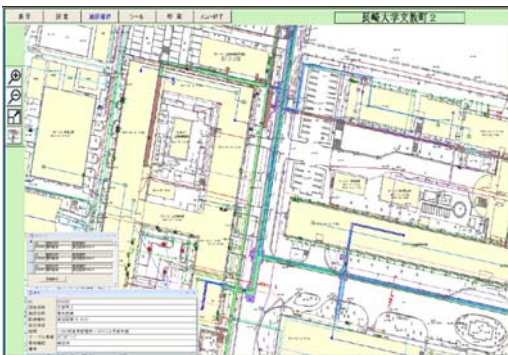
電力・通信は、ガス・水道と並ぶ重要なライフラインのひとつです。これら地下埋設物の適切な管理には、正確な管理図の整備が必要です。従来は、占用者による自己管理でしたが、共同溝等の共有部においては、行政側が統括的な管理を行う事で、災害時などの非常事態には、迅速な復旧指示が出せるようになります。



□学校・施設調査（台帳作成）

学校・病院等の文教厚生施設は、利用者に対しより安全でより快適な空間を提供しなければなりません。それには、定期的な施設の補修や拡充、設備の更新、耐震等の安全対策などを適切に行わなければなりません。

そこで、施設等の台帳を整備することにより、管理者が施設等の適切な把握及び、適切な時期での施設拡充計画や設備更新をスムーズに行えるようになります。

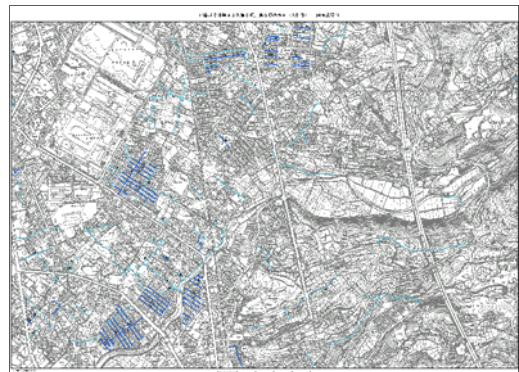


また、台帳（紙）による管理運用では台帳が一冊しかないために、冊子が破れたり、台帳の一部変更などの微小な更新でも手間がかかりますが、GIS部門との連携により、コンピュータによる管理システムでは、誰でも閲覧出来るうえに、追加削除等の更新作業の簡素化につながりますので、管理システムの導入をお勧めいたします。

□道路等調査

平成21年に都市計画法の大幅な改正で、都市計画区域の見直しがありました。それに伴い、建築・感染道路・消防・屋外広告など、様々な法律がその区域内に適用されることになりました。

そこで、現状の既存不適合物件を調査して、位置・数量を把握することで、それらの対処方針が明確となり、あとの行政手続き及び市道の簡素化につながります。



□ ネットワーク型RTK-GPSによる測量調査

ネットワーク型RTK-GPS測量により様々な施設の位置情報を高精度で観測する事ができます。観測したデータは台帳システム(GIS)の土台作りとし、道路付属物、マンホール、弁栓類、柵等、各種台帳の属性情報とする事でGISへの取込みが容易となります。

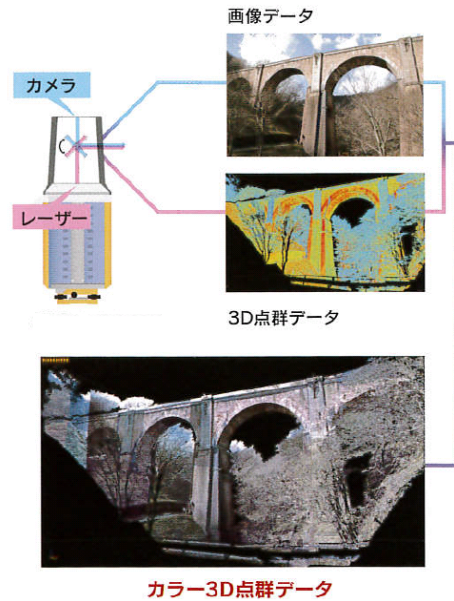
また広範囲の調査におきましては、従来の基準点測量で基準点を設置し、観測という手法よりも、直接その対象物の観測ができ、また人員も少なく済む為、コスト削減も期待できます。

RTK-GPSによる深淺測量においては、GPSより取得したデータと精密音響測深機で取得したデータを同期化させ、リアルタイムに位置と水底部のデータが得られます。RTK-GPSによる深淺測量では陸上での検潮データが不要になる為、作業人員が船上だけとなり、DGPSによる深淺測量よりも効率良く精度の高い測量を行う事ができます。



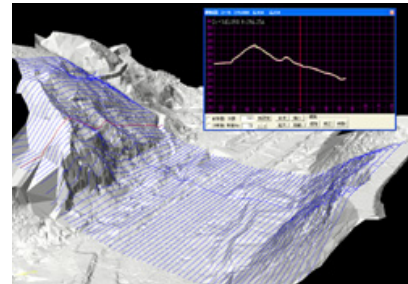
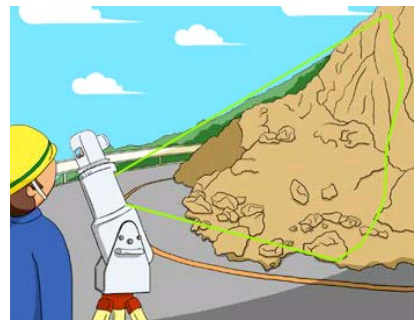
□ 3Dレーザースキャナー測量

3Dレーザースキャナー測量とは、カメラによる画像データと、スキャニングによる3D点群データの2種類を取り込み、地形や構造物などのリアルな点群データを得ることの出来る測量です。



□ 3Dレーザースキャナー測量の特徴

- 早く (短時間)
 - ・ 現場作業の短縮化
 - ・ トータルステーションによる測量に比べ格段に効率化
- 安全に (遠隔計測)
 - ・ 人が行けない場所、危険地帯の計測
 - ・ 級傾斜地、崩壊地、河川敷の計測
- 正確に (高精度)
 - ・ 従来のトータルステーションと同等の精度
 - ・ 航空レーザー、写真測量よりも高精度
- 保存・加工が容易
 - ・ 面積、体積の計算が瞬時にできる。
 - ・ 任意の場所で断面が作成できる。



□ その他

基準点測量・水準測量・応用測量等の一般測量業務、各種台帳等の作成業務